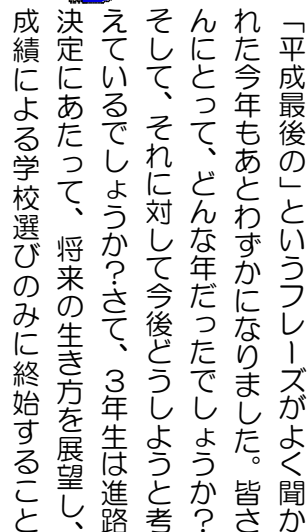


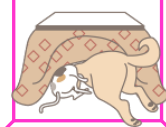
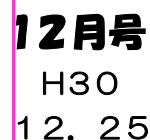
住吉第一中
校長室だより
い
つ
ち
ゆ
う



なく、常に先を見通した進路選択をすることが大切であると感じてきたことでしょう。この冬休みはラストスパートの絶好の機会です。体調を整え、最後の追い込みに取り組んでください。また、受験する学校（受験しようかなと迷っている学校も含めて）には必ず、実際に行って、自分の目で確認してください。また、私立の受験校が決まれば願書も入手してきてください。1, 2年生はこの2学期を振り返り、頑張った点、努力が足りなかった点など、懇談で話があったと思いますが、それを踏まえて今後どう過ごせばよいかをよく家庭で話し合ってください。そして、それを実行してください。中学校の3カ年はアツと言う間に過ぎます。「光陰、矢の如し」です。

● ● ● ● ●

学期末の懇談会にご協力いただき、誠に有難うございました。長かった2学期も終わり、冬休みです。過ごし方については、懇談や集会等でお伝えしていますが、再度、親子で話をして有意義な冬休みを送るようにしてください。健康には留意し、規則




発行者

中西利彦

インフルエンザ・ノロウイルスに注意!

正しい生活を送るようにしてください。特に、年末年始は子どもが多くのお金を手にする時期でもあります。子どもが事件・事故に巻き込まれたり、問題行動に走るきっかけにならないようによくお願いいたします。また、家族の一員として積極的
に家事を分担させたり、子どもに学力の礎となる読書を心がけるようにご指導いただきますよう、重ねてご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。


本格的な冬の到来とともに、インフルエンザが流行の兆しを見せています。基本的な生活習慣を守り、帰宅時には、うがい・手洗いを励行してください。また、ノロウイルスによる食中毒も発生する季節なので、あわせて注意してください。学校からのプリントをよく読んでおいてください。



☆
2年生
高校体験授業

12月6日(木)の5、6限に2年生は、「高校体験

授業」を受けました。都島工業高校、住吉商業高校、工芸高校、咲くやこの花高校、住吉高校、府教育センター附属高校、西高校の7校から先生方に来



ンター



ました。住吉商業高校は、「ビジネスマナー入門」で実社会を垣間見せてもらいました。工芸



ていただき、高校での授業を体験させていただきました。都島工業高校は、パソコン教室で「3DCGの基



咲くやこの花
高校



工芸高校



住吉高校

高校は「学年ドラマのシナリオをつくらう」として美術室でショートプロジェクトづくりに励みました。西高校は「What's your favorite・・・?」で英語の授業を受けました。咲くやこの花高校は「劇表現の授業を体験しよう」という授業で、格技室で体表現を学びました。住吉高校は、「言葉の持つ力」という授業で与えられた課題に対して議論行いました。府教育センター附属高校は、「探究ナビ」というテーマで自分の個性を見つけるように自分探しに努めました。それぞれの高校の授業に参加して、興味を持ち、これからの進路を考えるきっかけになりました。お世話になりました高校の先生方、ありがとうございます。



訪問ダンス教室☆

12月12日(水)、OSK日本

歌劇団のプロのダンサーが講師となって、ダンスの授業をしてくれました。劇団紹介の映像を見た後、入念なストレッチをし、振付を教えてもらいました。どの学年も、素早く振付を覚えられました。そして、各グループでそれぞれのグループの発表をしました。姿勢がよく、手先、足先までピンと伸びた講師の先生方は洗練とされていました。自分たちの決めポーズも披露し、楽しく授業を受けることができました。



3年生 校長面接

3年生は、12月14日(金)から校長面接の練習を始めました。私立高校の入試の面接を想定して練習しました。1クラスを5つのグループに分けて、2時間単位で行っていました。何を質問されるのか、どう答えたらいいのか、入室、退室方法に間違いはないのか。不安がいっぱいの面持ちで、面接に臨んでいます。面接時間は、非常に短時間ですが、日常の様子や言動が、面接の一挙手一投足で読み捉えられてしまうものです。面接は、高校入試だけではなく、将来、仕事に就くときには、面接があります。面接の基本を学んでほしいと思っています。



税の作文表彰

12月4日、小畑住吉税務署長さんが来校され、3年生のM・Mさんの税の作文が「住吉・住之江地区租税教育推進協議会長賞」

編集後記

もうすぐ、今年も終わり、新しい年を迎えます。H30(2018)には、集中豪雨や6月に大阪北部地震があり、本校でも登校時に混乱しましたね。また、災害級の暑さの夏でした。そして、台風21号が大阪を直撃し、多大な被害をもたらしました。その直後に北海道で大きな地震もありました。災害の影響を直接受ける年でした。また、ピョンチャン冬季オリンピックでは、たくさんのメダルを獲得したり、ノーベル生理学・医学賞を本庶佑氏が受賞したり、明るいできごともありました。平成時代も終わる来年、どのような一年にしようと考えていますか。素晴らしい年になるようするためには、日頃から当たり前のことを当たり前にする。基本をコツコツするしか、近道はないと思います。

に選ばれ、表彰状を授与してくださいました。その表彰されたM・Mさんの作品を左欄に紹介します。



「住吉・住之江地区租税教育推進協議会長賞」に選ばれたものです。

「未来を見つめ、明日を創るために」

M・M

2007年に始まった「ふるさと納税」の仕組みについて、私は最近まで、大きな勘違いをしていました。

私は今まで、「ふるさと納税」とは、自分の地域の住民税や所得税を支払うことは前提であり、それに加えて自分の意思で、他の地域に寄付をすることができ、寄付をした金額に応じて返礼品を受け取ることができるという仕組みだと思っていました。

しかし実際は、応援したい自治体に寄付をすると、寄付をした金額から2000円を引いた分が、住民税や所得税から控除され、さらに、寄付をした金額に応じて返礼品を受け取ることができるという仕組みでした。

この方法では、返礼品がよいところに寄付金が集まってしまう、寄付金が少なかったところでは、元々集めることができたはずの税金の額よりも少なくなってしまう。これでは、自治体のことが制限され、住民が減り、どんどん衰退してしまう地域もでてきてしまうのではないかと思います。

それに加え、寄付金額よりも高価な返礼品を設定している地域があるという話を聞いたことがあります。この状態だけを見ると、住民税や所得税を控除してもらうことができ、さらに、寄付した金額よりも高価な返礼品を手に入れることができる国民だけが得をしているように見えてしまいます。

私は、自分の地域の住民税や所得税は必ず払い、個人の自由として、応援したい自治体に寄付をするという方法にした方がよいと思います。長い目で見たとき、地域が衰退して困ってしまうのは、その地域に住む住民自身です。他の地域に移り住んで、生活をするにしても、今まで「ふるさと納税」で得をした金額と比べると、引っ越しをした方がお金がかかってしまうことのほうが多いと思います。

このように、今暮らしている地域の状態だけでなく、30年後や、40年後、もっと先の未来を見つめ、最善の方法を見つけることが今の私たちに求められていることだと思います。そのためには、まず今の社会についてもう少し関心を持ち、意見を交換することが大切だと思いました。